

第15回全国中学生弓道大会参加中学生の感想

【男子団体】

羽咋市立羽咋中学校 3年 表 慎介

僕は3立目の第3射場の前だった。明治神宮へ行くまでは全く緊張していなかったのに、明治神宮の弓道場は普段練習している場所よりも広く、観客の数も多く、すごく緊張した。

練習ではよく的中していたので、予選でも的中すると思っていたが、練習のように的中をのばすことはできなかった。しかし、普段とは違う雰囲気の中で射つことができ、良い経験になったし、楽しみながらできたので後悔はなかった。これからは緊張する時は、楽しみながらしようと思う。

これまで支えてくれた藤田コーチや酒井コーチ、先生方に感謝している。これからは弓道をすると思うので、その時は、感謝の気持ちを忘れず、楽しみながらしていきたい。

羽咋市立羽咋中学校 3年 堀越 祥蔵

「県大会優勝」が僕の目標でした。最後の県大会では、志望校には弓道部がないので、最後の弓道にはしたくないという思いでした。僕は毎日の練習で的中が悪く、大会もあまり良い結果ではありませんでした。チームの仲間が多くの中してくれたので優勝することができました。全国大会では、足を引っ張らないようにしたいなと思うくらい、反省の多い県大会でした。

全国大会は県大会とは雰囲気が全然違いました。そのためか、自分の射をすることができませんでした。自分がまた、足を引っ張ってしまったとったりもしました。でも、全国大会や東京を回ったのは楽しかったです。今の仲間や先生方と東京へ行く機会はないと思うので、すごく思い出に残ると思います。来年こそ、後輩達に全国優勝してほしいです。

羽咋市立羽咋中学校 3年 江場田 大希

僕達は「県大会優勝」を目指して、日々の練習に取り組んできました。だから、県大会の三回戦が終わり、団体優勝が決まったときは、とてもうれしかったです。そして、羽咋中学校男子の団体・個人優勝が決まり、今まで一生懸命練習してきた良かったと思うとともに、全国大会にむけて、さらに練習しようと思いました。夏休みが始まり、僕達は毎日練習しました。コーチから多くのことを教えてもらったり、互いに教え合ったりし、的中が増えてきました。全国大会直前は、僕達はかなり調子が良い状態でした。

そして、全国大会。

道場はとても大きく、きれいで、射ちやすそうだと思います。しかし、いざ入場すると、全国大会という大きな舞台に緊張し、足が震えました。結果は、団体、個人ともに予選敗退でした。それでも、あの場所で射て良かったと思うし、コーチや先生、応援してくださった方々に感謝したいと思いました。

羽咋市立羽咋中学校 3年 坂本 空澄

僕は、明治神宮で行われた全国大会へ行った。補欠だったが選手をしっかりと応援した。いつもの道場と違って緊張感があった。藤田コーチと芳野先生と3年間一緒に練習してきた弓道部のみんなのおかげで全国大会に行けたと思う。

僕達は、いつも通りの射がしっかりできれば、勝ち上がっていきえると思っていた。でも、全国大会はいつもと違う場所、県大会を勝ち上げてきた他県の学校のレベルも気になり、また、全国から応援に来ている人の多さに、いつも通りとはいかなかった。全国大会という雰囲気に負けてしまったのだと思う。でも、全国レベルの弓道を見ることができて良い経験になったと思う。また、良い思い出になった。3年間、弓道を頑張ってきた良かった。

【男子個人】

羽咋市立羽咋中学校 3年 田村 奏

明治神宮の道場はとても広く、とても緊張した。会場の雰囲気に飲まれてしまい、県大会のような調子を発揮することができなかった。前日の練習では8射6中と予選通過圏内にあり、浮かれて

いたのかもしれない。大会当日は8射2中と、とても悔しい結果になってしまった。1回戦目が残念だった。しかし、最後の大会になるので、悔いが残らないように心がけた。

僕は、高校へ行っても弓道を続ける予定なので、また、全国の舞台に立って、良い成績を修められるようにしたい。

【女子団体】

中能登町立中能登中学校 2年 上坂 美和

県大会で優勝し、全国大会に行くことができたのは、教えて下さったコーチ、家族、先生のおかげだと感謝しています。

全国大会では緊張し、自分の思う射ができず、決勝トーナメントに残ることができませんでした。全国の力はとても強く圧迫させられました。このなかなかできない貴重な経験は、今後の自信にもつながりました。これからも、練習に励み頑張りたいと思います。本当に、ありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 2年 西野 綸夏

県大会で優勝したけど、私自身は2本しか当たってなくて、他の2人の足を引っ張ったので正直自信がありませんでした。しかし、加賀コーチの「全国大会に向けて今までできていなかったことを厳しく教えていくぞ」という言葉を聞いて、今度こそは2人の足を引っ張らないよう、頑張ろうという気持ちに切り替えることができました。加賀コーチの言葉に、何度言われてもできない自分と、大会まで時間がない焦りから、泣きながら練習しました。前と後ろから射形を見てもらいながら教えてもらった結果、私の射形の悪いところは改善しました。しかし、大会当日の緊張や、また悪い射形に戻ったらどうしようという不安、そんなプレッシャーなどで押し潰されそうでした。でも、仲間の言葉や加賀コーチ、同じ全中に行った羽咋中学校のコーチや男子のみなさんのお陰で心が和み、リラックスして大会に臨むことができました。大会の結果は良くなかったけど、1人1人が全力を出し切ったので悔いは残りませんでした。今回このような貴重な経験をさせて頂き、この経験をいろいろな場面で今後に生かしていきたいと思います。本当に、ありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 2年 豊島 有笑

県大会で優勝し、全国大会へ行くことができたのは、両親をはじめとする家族、先生方の支え、私に弓道を教えてくださった先輩方、加賀コーチのおかげです。本当に感謝しています。

全国大会はやはり、全国の優秀者が集まっていて、レベルの高さを実感させられました。緊張のせいもあってかいつも通りの射ができず、残念ながら予選敗退に終わりましたが貴重な経験ができたと思います。

これからも学び、自分の技術の向上を目指していきたいです。本当に、ありがとうございました。

【女子個人】

石川県立金沢錦丘中学校 3年 西村 智花

私はずっと応援される選手を目指してきた。そして迎えた県大会。仲間、先生、先輩たくさんの方が私の優勝を喜んでくれた。全国大会進出が決まり、「頑張れ」と皆が応援してくれた。

全国大会。頼れる仲間がいない。とにかく心細かった。1回戦は、残念。もう決勝には進めないと思うと、涙が止まらなかった。応援してくれた人たちに申し訳なくて、弱い自分が嫌で、初めて弓道をやめようかとも考えた。私はプレッシャーに負けた。

私は全国大会を通して、2つのことを知った。1つは仲間の存在の大きさだ。私はあの二人と最高のチームをつくることができたから、今まで自分の射ができた。本当にありがとう。高校では、一緒に全国大会にいこうね。もう1つは、自分の弱さだ。緊張すると自分に負けることを、また思い知らされた。今回は満足できる射はあまりできなかったけれど、次につながる意味のある大会になったと思う。

応援して下さいの方々、本当にありがとうございました。今後は、応援を力にできる選手を目指し、弓道を楽しみ続けます。